

## 行政内情報伝達演習について

### 1 . 行政内情報伝達演習の概要

#### 1.1 演習の概要

実施日：平成 19 年 5 月 14 日（月）

実施機関：琵琶湖河川事務所、滋賀県（関係課及び関係事務所）、関係各市

対象河川：野洲川（下流）・瀬田川・日野川

演習内容：実際の洪水を想定し、水防警報、洪水予報を関係機関に伝達し、伝達体制が機能するかを確認

#### 1.2 演習の目的

水防担当者の防災対応能力の向上を図る

情報伝達における課題の抽出及び改善を図る

### 2 . 演習で得られた課題及び対応策

情報伝達演習を実施したことにより、“水防担当者の防災能力の向上を図る効果”は得られたが、多くの課題が得られたことから早急に改善を行う必要がある。

#### < 演習で得られた課題と課題に対する対応 >

NO	演習で得られた課題	課題に対する対応
	システム障害（FAX自動送信機能障害）による情報伝達の遅延	システム正常動作確認を実施 （6月12日に再演習を実施済み）
	システム障害発生時の情報送信手段変更判断の遅延（FAX自動送信 FAX手動送信に変更）	危機管理対応の検討の実施
	様式の相違（水防警報システムと滋賀県水防計画）	来年度よりシステム様式を滋賀県水防計画に反映
	単純ミス ・情報内容の誤り（野洲川を瀬田川と記載） ・送信先の誤り（東近江を甲賀へ送信）	送信時の混乱を最小限に抑えるため、訓練時からの送信資料整理や確認の確実な実施
	情報伝達時間の短縮 ・琵琶湖河川からの伝達時間： 最長 59 分（概ね 20 分以内で完了） ・滋賀県からの伝達時間： 最長 57 分（概ね 30 分以内で完了）	・情報伝達訓練によるスキルアップ ・情報伝達に関する説明の強化（水防連絡会等）